

# 位置情報共有アプリについて

利用者同士でお互いの居場所を共有し合える、位置情報共有アプリが人気を集めています。待ち合わせや、災害時の安否確認などにとっても便利なアプリですが、使い方によってはトラブルに巻き込まれてしまう危険性もあります。

## 位置情報共有アプリの機能

友だちとしてつながった利用者同士がお互いの居場所を地図上で確認し合えるというのが、位置情報共有アプリの基本的な機能ですが、それ以外にも各サービスごとにさまざまな機能があります。

位置情報共有アプリの機能の例

- ・友だちとメッセージのやりとりができる
- ・友だちのスマートフォンの電池の残量を確認することができる
- ・友だちの現在地と、その場所での滞在時間を確認することができる
- ・友だちによって、自分の居場所を知らせないようにしたり、大まかな位置しか知らせないようにしたりすることができる



このように地図上で友だちの居場所を確認できるので、待ち合わせのときに活用するのはもちろん、誰か一緒に遊べる友だちが近くにいないか探したり、スマートフォンをなくしてしまったときに、その落とし場所を友だちに確認してもらったりといった使い方もできます。

## 面識のない人と友だちとしてつながると、こんな危険が……

位置情報共有アプリでは、電話番号やサービス上のIDを使って友だちを追加することができますが、ときにはまったく面識のない人から友だち申請がきたり、自分のIDをSNS上で公開し、友だち申請を求めている人もいます。

しかし、そのような面識のない人とサービス上で友だちになることは、とても危険で、ストーカー行為などを目的としている人も少なからずいます。実際に、サービス上で友だちとしてつながった面識のない人から、ストーカー被害を受けてしまった利用者もいるのです。



位置情報共有アプリは便利な反面、面識のない人とつながるとストーカー被害や、犯罪に巻き込まれてしまう可能性もあります。もし利用するときは、自分のIDをインターネット上にのせないこと、面識のない人とは友だちにならないことに注意してください。